

科目名称	公衆衛生学
授業コード	BC382
英語名称	
学期	2024年度後期
単位	2.0
担当教員	山本 和弘
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	愛玩動物看護師にとって個々の動物をみる臨床現場での実践は多いが、この授業「公衆衛生学」は、公共の全体集団における健康の維持増進および疾病予防の方法を学ぶ。授業では、なるべく身近な生活における、「環境衛生」、「食品衛生」、「疫学」、及び「人獣共通感染症」について分かりやすく具体的に説明する。本科目は「愛玩動物看護師カリキュラム」対応科目である。
科目に関連する実務経験と授業への活用	米国での感染症疫学研究、野生動物調査の経験、開発途上国での人口動態や感染症コントロールの実務経験や、日本国内での動物病院での臨床経験に基づき講義を行う。
到達目標	ディプロマ・ポリシーにある「人と動物の『共生』」についての科学的な専門知識を習得し、カリキュラム・ポリシーに掲げる「社会において新たな領域を開拓する人間」を育てる。この授業では人と動物双方の集団全体における疾病予防、寿命の延長、健康増進をはかる科学的技術と知識を習得する。 動物病院、動物保護団体、産業動物、実験動物、動物関連の一般企業などの現場における人々全般の健康と安全を保証し、公共の秩序を保全するためのリーダーシップを発揮する知識と実践力を身につける。日本における動物看護学の能力育成のため、グローバルな視点から授業を展開し、学生の意見や考えを取り入れた双方向のアクティブラーニングを活用する。なお、本講義はカリキュラム・ポリシーに掲げる「関係資格取得のためのカリキュラム」に該当する。
計画・内容	獣医師である山本が担当する 1) イントロダクション：これから何を学ぶのか。我々が直面している現状。公衆衛生の目的、公衆衛生業務、国民衛生の動向、One Healthについて獣医療との関連。 予習：最近起こった興味ある集団感染等の話題に留意しておく（1時間） 復習：WebClassでパワーポイントスライドの見直しと整理（1時間） 2) イントロダクション2（つづき） 公衆衛生の目的、公衆衛生業務、国民衛生の動向、One Healthについて獣医療との関連。 予習：関心のあるトピックについて集団における公衆衛生業務について調べる（1時間） 復習：WebClassでパワーポイントスライドの見直しと整理（1時間） 3) 疾病予防：感染症について；感染の成立、疾病・健康障害の発生要因について 予習：具体的にいくつかの感染症について調べ、授業内で述べられる感染症の成立を考える（1時間） 復習：WebClassでパワーポイントスライドの見直しと整理（1時間） 4) 疫学とは何か？：集団における健康、および疫学的調査法（その1） 予習：集団における疾病のコントロールとは何かを考えておく（1時間） 復習：WebClassでパワーポイントスライドの見直しと整理（1時間） 5) 疫学的調査法つづき（その2）、予防疫学について：集団における予防獣医学、および疫学的調査法 予習：予防医学にはどのようなものがあるのかを前もって調べておく（1時間） 復習：WebClassでパワーポイントスライドの見直しと整理（1時間） 6) 人獣共通感染症とは何か？：人獣共通感染症 その1 ウイルス編 狂犬病について 予習：疫学の3つの重要要素について再考し動物から感染する病気を調べておく（1時間） 復習：WebClassでパワーポイントスライドの見直しと整理（1時間） 7) 人獣共通感染症 その2 細菌編： 予習：ウイルスだけでなく動物が持つ細菌から感染する病気について調べておく（1時間）

計画・内容	復習：WebClassでパワーポイントスライドの見直しと整理（1時間） 8）人獣共通感染症 その3 真菌、寄生虫、その他編 予習：動物が持つ真菌（かび）、寄生虫がどのように人に感染するか調べておく（1時間） 復習：WebClassでパワーポイントスライドの見直しと整理（1時間） 9）環境衛生とは何か？人と環境の関わり。環境の大切さ。歴史、背景、現在の問題 予習：一般的に環境の悪化により人の健康被害がどのように生じるのかを調べておく（1時間） 復習：WebClassでパワーポイントスライドの見直しと整理（1時間） 10）環境衛生：各論 化学物質、放射線による健康障害、衛生動物による被害、咬傷事故、廃棄物処理 予習：化学物質や放射線の暴露、衛生動物による健康被害にはどのようなものがあるのか調べておく（1時間） 復習：WebClassでパワーポイントスライドの見直しと整理（1時間） 11）食品衛生とは何か？食品の安全性を維持する、食品経路で健康障害 予習：具体的に食品で起こった健康被害状況、発生例を調べておく（1時間） 復習：WebClassでパワーポイントスライドの見直しと整理（1時間） 12）食品衛生 食中毒その1：食中毒とは何か？食中毒発生のメカニズム 予習：食中毒を防ぐ方法を予め調べておく（1時間） 復習：WebClassでパワーポイントスライドの見直しと整理（1時間） 13）食品衛生：食中毒その2：集団発生例、食中毒予防法、食中毒の種類・原因 予習：具体的に家庭内において食中毒を防止するにはどうすればよいかを考え、調べておく（1時間） 復習：WebClassでパワーポイントスライドの見直しと整理（1時間） 14）動物性食品の衛生；肉類、乳類、卵類、魚介類から生じる疾病、と畜場と食肉検査 予習：家庭においてのタンパク質摂取源とその際の安全性について考え、調べておく（1時間） 復習：WebClassでパワーポイントスライドの見直しと整理（1時間） 15）食品衛生管理：HACCPについて 公衆衛生学：総括まとめ 予習：食品衛生管理にどのような基準があるのか？今まで学んだことの中でこれから実行してゆくことができることは何かを再考する（1時間） 復習：WebClassでパワーポイントスライドの見直しと整理（1時間）
授業の進め方	授業はパワーポイント中心に進める。 授業前にWebClassに授業資料はすべて掲載する。それを元に予習復習を行うこと。 質問等を受け付けた場合は授業内で共有する。
能動的な学びの実施	普段から集団の健康を維持する方法について、食品衛生、疫学、人獣共通感染症、環境衛生の観点から考え、調べておく。また、身近に発生した感染症や環境の悪化に対しての健康被害がどのような時に、どのような場所で、どのような個体に多く生じているのか具体例を検証しておく。
授業時間外の学修	「公衆衛生」は公共の安全と健康を俯瞰的に熟考する学問であるため、公衆の衛生の保全を行うというイメージは抱きにくい。授業では「公衆衛生」が我々の生活に必要なかつ重要であるか、実例をあげながら説明する。その「公衆衛生」の実例が自分の身の回りにどのように存在するか？さらに「公衆衛生」を基盤としてどのように社会秩序が維持されているか？を考えながら実生活を過ごすこと。また、そのことを自分なりに考え、言葉にし、レポートに反映すること。（予習、復習、合計60時間程度）
教科書・参考書	愛玩動物看護師カリキュラム準拠 第5巻 2022年改訂版 「公衆衛生学、動物看護関連法規、動物愛護・適正飼養関連法規」 EDUWARD Press出版
成績評価方法と基準	レポート（40%程度）、期末試験（選択問題）（40%程度）、授業態度（20%程度）で総合的に評価し、最終成績とする。なお、全授業終了時点で2/3以上出席の出席回数がない場合は期末試験を受験することができない。
課題等に対するフィードバック	授業前にWebClassに授業資料スライドはすべて掲載する。 レポートに書かれた内容の重要な点についての詳細説明を行う。 授業後やオンラインを通して受け付けた質問は、その都度で回答するとともに、必要があれば次回の授業で履修者全員に説明しフィードバックする。
オフィスアワー	基本的にはキャンパススクエアを参照すること。 随時、質問は口頭にて、もしくはメール、LINE等においても受け付ける。対面にての質問は担当教員とアポイントを取る。
留意事項	

非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	オンライン授業となった際は YoutubeやZoom等による動画配信の授業体系をとる。授業の出席率は資料をダウンロードしたことにより授業出席とし算出する。 各自、動画を視聴し、その内容についてのレポートを提出し、最終試験である選択問題に回答することにより成績評価とする。 レポート点（８０％）、授業態度（２０％）トータル１００点で６０点以上を合格とする。 これらの情報は、キャンパススクエアもしくはWebClass上で配信される。
------------------------------------	--